

東京空襲資料展

入場無料

各会場では、戦争体験者による証言映像
「東京空襲・戦争の記憶を語る」を公開します。
資料展等での活用に同意された203名の方の映像を上映します。
(証言映像の内容は、各会場により異なります)

東京芸術劇場会場

令和8年 3月5日(木)～3月18日(水)
午前11時～午後8時

会場 東京芸術劇場
地下1階アトリエウエスト

練馬区会場

令和8年 3月6日(金)～3月12日(木)
午前10時～午後6時

保守点検日:10日(火)

会場 練馬区立大泉学園ゆめりあホール
7階ゆめりあギャラリー

八王子市会場

令和8年 3月7日(土)～3月11日(水)
午前10時～午後6時

会場 八王子市生涯学習センター
(クリエイトホール)5階展示室

東村山市会場

令和8年 2月28日(土)～3月15日(日)
午前9時～午後5時

休館日:2日(月)、9日(月)

会場 東村山市立中央公民館
1階展示室

主催 東京都 共催 練馬区・八王子市・東村山市

昭和16年(1941)12月に太平洋戦争は始まり、東京は昭和17年(1942)4月18日に初空襲を受けました。昭和19年(1944)夏以降、空襲は本格化し、昭和20年(1945)3月10日に現在の墨田区・江東区・台東区を中心とする下町地区に米軍のB29爆撃機約300機が来襲し大規模な空襲が行われました。この2時間余りの空襲で10万人ともいわれる尊い生命が失われました。その後も昭和20年8月15日までに100回を超える空襲が続き、東京は焦土と化しました。

東京都は、平成2年(1990)に3月10日を「東京都平和の日」と定め、様々な記念行事をおこなってきました。また、平成13年(2001)には都立横網町公園内(墨田区横網・旧被服廠跡)に「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」を建設し、その内部には犠牲となられた方々のお名前を記した「東京空襲犠牲者名簿」を納めています。本展では戦中・戦後の生活や労苦を物語る資料に加え、当時の記憶を語る映像資料を展示しています。



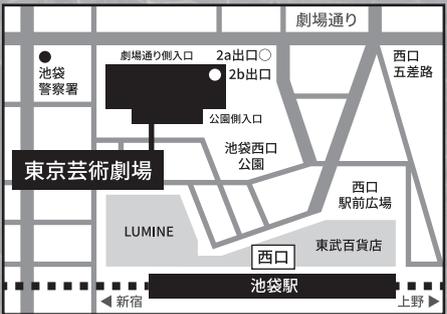
各会場では、戦争体験者による証言映像「東京空襲・戦争の記憶を語る」を公開します。

資料展等での活用にご同意された203名の方の映像を上映します。
(証言映像の内容は、各会場により異なります)

証言映像とは?
東京空襲や戦争を体験した当事者の方々が当時の様子を語った映像で、1990年代に撮影されたものです。

東京芸術劇場会場

会期 3月5日(木)～3月18日(水)

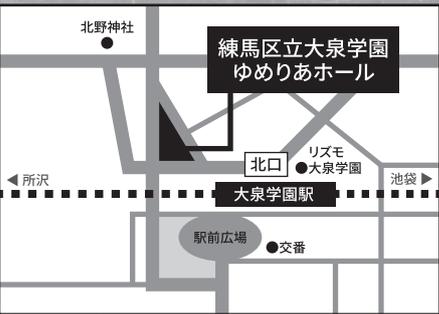


○JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線「池袋駅」下車 西口より徒歩2分(駅地下通路2b出口直結)

練馬区会場

保守点検日: 10日(火)

会期 3月6日(金)～3月12日(木)



○西武池袋線「大泉学園駅」下車 北口より徒歩1分

八王子市会場

会期 3月7日(土)～3月11日(水)



○JR「八王子駅」下車 北口より徒歩4分
京王線「京王八王子駅」下車 徒歩4分

東村山市会場

休館日: 2日(月)・9日(月)

会期 2月28日(土)～3月15日(日)



○西武新宿線・西武国分寺線「東村山駅」下車 東口より徒歩2分

東京都では東京空襲犠牲者名簿を作成しています

東京都では、東京空襲で犠牲となった方々を追悼し平和を願うため「東京空襲犠牲者名簿」を作成しています。名簿への登載は、遺族及び関係者などのお申し出に基づいて行います。お心当たりのある方は「東京空襲犠牲者名簿登載申出書」に記入してお申し出ください。申請書は各展示会会場にて配布するほか、下記ホームページからもダウンロードできます。

- 名簿にのせる方
- 名簿登載事項
- 名簿への登載
- 名簿保管場所
- 申請書ダウンロード

- ・昭和17年4月18日から20年8月15日までの東京都内における空襲で亡くなった方(空襲による負傷等が原因で亡くなった方を含みます)。
 - ・軍人、軍属だった方は、東京都戦没者霊苑(文京区春日1-14-4)において慰霊追悼していますので対象となりません。
1. 氏名 2. 年齢 3. 死亡年月日 4. 死亡場所(区市町村名)
- 毎年12月末日までに受け付けた犠牲者のお名前を3月に名簿に追加登載します。
- 「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」の中にお納めしています。
場所: 墨田区横網二丁目3番25号 都立横網町公園内
- https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/bunka/bunka_seisaku/0000000632/0000000662

